



写真：芥川龍之介
国立国会図書館「近代日本人の肖像」

読書家・芥川龍之介と 作品のひみつ —名作は田端の書斎から

子どもの頃から本を読むのが大好きだった芥川龍之介。古今東西の作品との出会いは、自身の小説にも大いに影響を与えました。龍之介はどんな本を読み、どんな作品を書いたのでしょうか。

龍之介が作家生活のほとんどを過ごした田端との関係にも触れながらご紹介します。

日時

令和8年3月22日（日）14時～15時30分

（受付 13時30分から）

会場

北区立中央図書館3階ホール

（〒114-0033 北区十条台1-2-5）

定員

中学生以上 40名

※北区立中学校・義務教育学校在学優先枠あり

（きたコン掲示板掲載の申込コードよりお申込みください。）

申込

右記申込フォームよりお申込みください。

締切 3月19日（木）※先着順・定員になり次第受付終了

申込はこちら
（Web申込）



講師

ほしの しおり
星野 志織 氏

田端文士村記念館研究員

1989年 山形県生まれ。田端文士村記念館研究員として企画展「芥川龍之介 余暇のたのしみ—趣味でつながる田端人たち（2025）」の他、ゲーム「文豪とアルケミスト」とのタイアップ展示（2020）などの展覧会や講演会を担当。また、文士たちが暮らした当時の面影を感じられるよう、田端に設置している標示板の改訂も行う。

講演会の詳細はこちら
（北区図書館ホームページ）



【問い合わせ】

中央図書館事業係

☎ 03(5993)1125